



広報

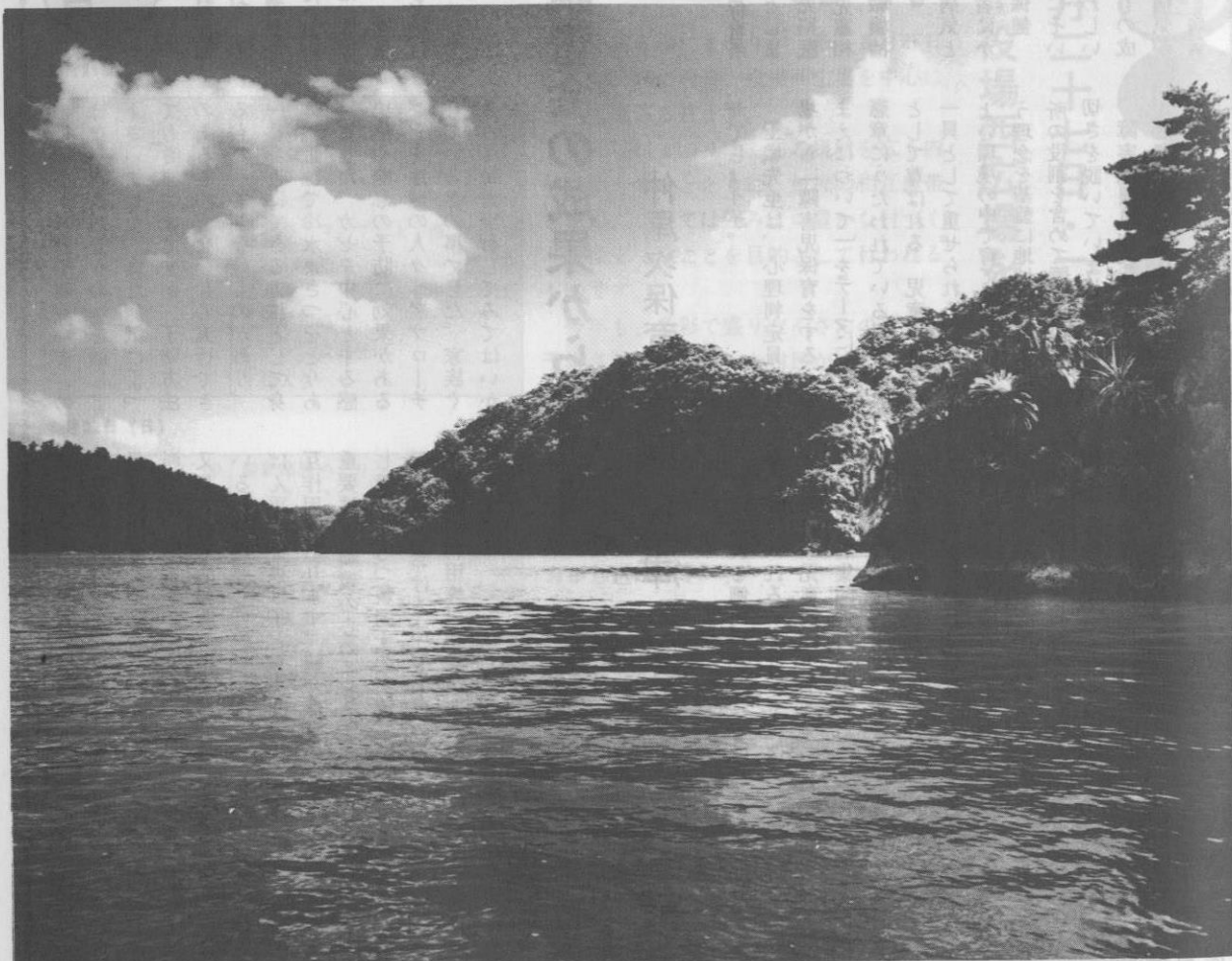
# なぎじん

No. 93

1983年 8月

村章

(毎月1日発行)



### ▲大自然のパノラマ・運天水道

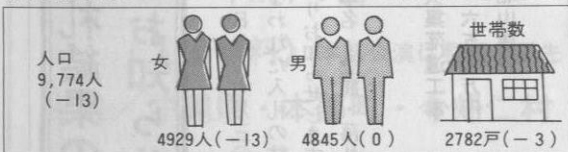
古より天然の良港として、また対外貿易の拠点として活用されている運天港。その入江から羽地内海に抜けるまでの水路は知る人ぞ知る今帰仁が誇る大自然のパノラマ。

鷗が飛び交い、水面がゆれる。断崖の岩膚と松が枝のおりなすコントラストは、まさに山水画の世界。中国の桂林・台湾の日月潭には及ばずとも、年月を経た自然の風景は人工美にはないおだやかさと威厳を秘めている。

月下に小舟を浮かべ泡盛をかたむければ、ロマンチックな気分になれることうけあいだ

今帰仁村の人口

昭和58年6月30日現在



### 今月の主な内容

- 二 障害児保育を考える  
講習会の成果から 仲尾次保育所 保母 立津洋子
- 三 第四回今帰仁村まつり  
八月二十七日・二十八日役場西広場を  
中心に開催
- 四 高まつています  
社会教育の必要性
- 五 出版だより―村文化財保存調査委員会  
仲宗根チームが総合優勝
- 六 第三十九回村球技・格技大会  
村民コーナー私の一言
- 七 あるぜんちんの社会情報について  
玉城源五郎
- 八・九 古文書への招待  
藤摩軍今きじん通過記録⑦  
若き後継者たち④
- 十 アイディア農耕具製作  
天底の大城清政さん
- 十一 税務課だより  
固定資産税のあらまし  
その四

# 障害児保育を考える

今帰仁村保母の会は、月一回研究会をひらいていますが、その一環として第一回の講習会を七月十六日に中央公民館において開催しました。参加者は、保母、調理師、保健婦、保護者、厚生課職員等で約五十名が講習を受けました。

## 講習会の成果から

仲尾次保育所保母 立津 洋子

の把握、保育者や親がいまどの様な対応が必要なのかを話して下さいました。また病気によってもさまざまですが、予防方法のあるもの、ないものがあり、一番身近にできる方法として身体の鍛練で冷水まきつとりあげました。カゼを中心とする感染症や喘息の予防に効果があることを地域の人々へアプローチしているとの事でした。家族ぐら

ターケアも障害児保育にとつて重要な課題です。健常児の成長発達段階を把握している保育所では、障害をみつけやすい、又基本的な生活習慣が秩序だてているので指導も可能でありい

ことも大切です。保育の中では発達の違いは健康な子に健康な子以上に援助とダイナミックなかわりが必要で、子どもの情緒安定をはかり自発的遊びを伸ばすつづき健常児以上に、観察、専門家も含めての指導目標を決めてプログラムをたて弾力性のある計画でなければいけない。又記録は個人の成長発達にとっても重要な事です。子どもとの共感的理解をもち発達における健康を考慮し保育をしていく必要があります。

今帰仁村では、はじめての試みでしたが、有意義でした。よりよい統合保育を目指していきたいと思えます。

「よりよい障害児保育を求めて」及び「子どもの健康について」で保育所職員、資質向上をねらいとしました。講師には、名護小児科医院長の仲村佳久先生、コザ児童相談所より心理判定員の玉城環治先生をお招きしました。

がでしようか。玉城先生は、心理判定員の立場から「障害児保育をする心がまえについて」をテーマに、児童憲章にうたわれている児童は一人として尊ばれる、児童は社会の一員として重ぜられる、児童はよい環境の中で育てられる、という理念を基盤に地域における保育所の役割を含めて障害児保育の大切さを説いていました。

受け入れる側の体制としては単に受け入れるのではなくて保育所職員の児童観、チームワーク等保育者集団の力量が問われ障害をもつ個々の発達の障害がなんであるのか原因を知り学習し、原因がわかれば訓練や心くばりもできる。障害は常に対応である。臨床、専門分野は専門家に援助をもとめ身近にいつも相談する相手をつくる。地域の人材、資源を利用し積極的に協力体制を作りネットワークを築く。親とのラポート関係を結ぶ



- ▼玉城林道舗装工事 一、〇〇〇万円 (株)沖縄道路
- ▼乙羽山林道改良工事 九七〇万円 丸島興業
- ▼謝名農業道路工事 三、〇五〇万円 (株)孝夫組
- ▼平敷集落道工事 三、〇二〇万円 新城組
- ▼玉城農業道路工事 三、〇五〇万円 島政建設
- ▼兼次集落道工事 二、六五〇万円 (株)北山建設

### 入札結果のお知らせ

六月一日から六月三〇日までに行なわれた入札の結果を、次のとおりお知らせします。(工事名・金額・落札者名)

# 第四回今帰仁村まつり

八月二十七日・二十八日

役場西広場を中心に開催



第4回今帰仁まつりが、来る8月27日(土)・28日(日)の両日、役場西広場を中心に盛大に開催されます。

今帰仁村まつりは、村の現状を広く内外に紹介するとともに、村民の相互連帯を深め、ひいては住みよい豊かな村づくりに役立てることを目的として行われるものです。

今年も、多彩で盛りだくさんの行事が予定されています。全村民がごぞって参加し、まつりを盛り上げていただくようご協力をお願いいたします。

なお、27日、28日行なわれる村内産業施設めぐりは人数に制限がありますので、お早めに村役場経済課(TEL2256)へお申し込み下さい。

また、村まつりについてのお問い合わせは村役場総務課(TEL2101)又は村商工会(TEL4474)へどうぞ。



## 第4回今帰仁村まつりプログラム

午後1:00~2:00	開会式パレード	西広場
2:00~5:00	産業施設めぐり	村内
3:00~6:00	闘牛大会	闘牛場
6:00~9:00	角力大会	役場前広場
8:00~10:00	赤いバラコンサート	西広場
8:00~10:30	ダンスの夕べ	役場ホール
1:00~5:00	展示会	中央公民館
	野菜即売	
	ラン、盆栽展示	
	総人会パザー	

午前9:00~12:00	産業施設めぐり	村内
6:00~7:00	ロック・フォークコンサート	西広場
7:00~7:30	ほんおどり	"
7:30~8:00	ロック・フォークコンサート	"
8:00~8:30	ほんおどり	"
8:30~9:00	花火大会	"
9:00~10:30	素人のど自まん大会	"
午後1:00~5:00	総合展示会	中央公民館



## 沖縄交響楽団第7回県民コンサート

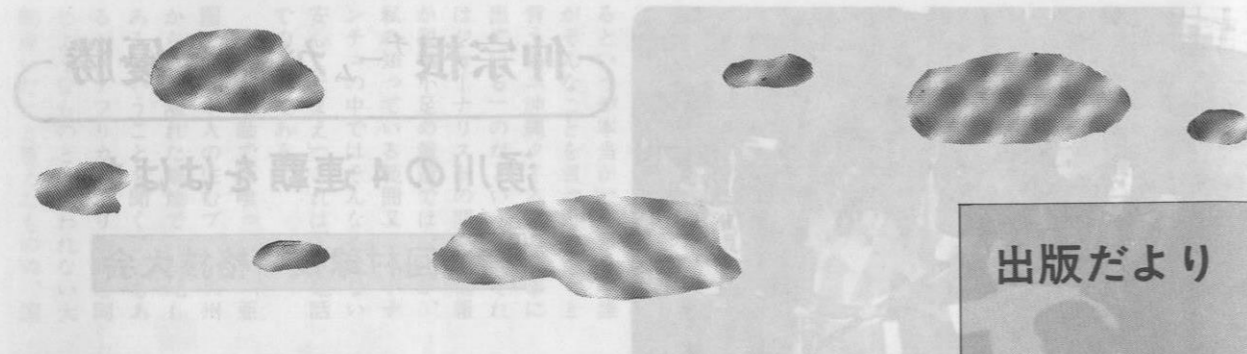
8月13日(土) PM7:30 今帰仁中学校体育館  
8月14日(日) PM3:00 本部町立中央公民館  
PM7:00

《入場無料》本部公演は整理券優先

主催/沖縄県・本部町・今帰仁村

お問合せ/沖縄県商工労働部、本部町、今帰仁村

- 曲目
- フィガロの結婚(序曲)/モーツァルト
  - 交響曲6番(田園)/ベートーベン
  - 白鳥の湖より(抜粋)/チャイコフスキー
  - 美しき青きドナウ/ヨハンシュトラウス
  - 芭蕉布/普久原恒男
  - えんどうの花/宮長良包
  - その他



### 出版だより

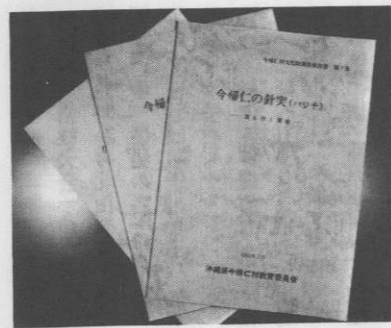


### 村文化財 保存調査委員会

#### 今帰仁の針突

本報告書は、一九八〇年から八一年に村文化財委員会が実施した「バジチ」の調査結果をまとめたものです。調査はまずバジチ調査カードを設け、調査委員が対象者を個別訪問して聞き書きしたものです。以下内容の概略を記してみます。

この調査では、バジチの模様を完全型と不完全型に分類し、呼称や施術の方法、用具の説明年齢、回数、季節のことやどんな理由で為されたのかといった



事を徹細に調べあげています。さらにバジチの模様についての各部の呼称の比較が検討され、その歌謡や結婚による動態分布についても詳しいデータが示されています。また、バジチの全体的な歴史概観をとらえ、それが及ぼした社会行動の規範性とその時代状況の差別を別括し、さらに社会的・経済的な時代背景を注視する重要性を説いています。

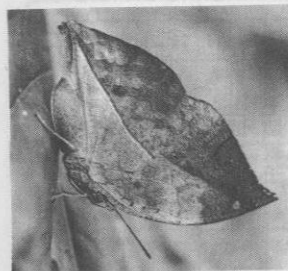
#### 今帰仁城絵ハガキ

城跡に関する資料はこれまでに数多く出版されていますが、村文化財委員会では村上仁賢委員の筆画によりカラー刷八枚一組の絵葉書を作成しました。絵の各々にテーマを附し、内容は「平

#### 大切にしよう 生きた化石

最近、乙羽山を中心に県指定となっているコノハチョウ、フタオチョウが心ない人により乱獲されています。これらの蝶は沖繩の島々が生起して以来ずっと生きつづけているもので、いわば「生きた化石」といえるものです。沖繩の島々を北限に生息していることから、動物地理学上あるいは昆虫学などからの学術的研究において大変貴重なものとされています。

現在までにその分布状況や食草の種類・行動性といったことが詳しく調査されていますが、未だ多くの不確定的な要素があつてその生活史についても充分に解明されていません。これら貴重となっているコノ



▲コノハチョウ



▲フタオチョウ



郎門遠望「国頭の山々を望む」「ひろがる海上の道」「志慶真門風影」「大隅の北壁より」「城内往古の道」「火の神周辺」

「山北今帰仁城監守来歴碑の拓本」の八枚で構成。各テーマ毎に平易な文章を記し、外来の方々でもその大略が把握できるように目配りを施しています。また表紙の俯瞰絵図により、城跡の全景がわかるよう配慮されています。

頒布は一セット三百円で、今帰仁城跡管理事務所販売されます。

高まっています

# 社会体育の必要性

### ◎スポーツ、クラブの現状

クラブ、又は教室名	参加人数	結成年度	活動内容	場所	世話係
陸上クラブ	25人	昭和50年	記録会	村宮グラウンド	島袋宗弘
バスケット	20人	昭和57年	毎週月曜(午後8時)	今帰仁中	新城一文
バドミントン	21(女9)人	昭和56年	毎週水曜(午後8時)	"	上原洋子外3
テニス	29人	昭和58年	毎週日曜(午後2時)	北山高校	与那登安
球友会	13人	昭和49年	毎週日曜日、シーズン2ヶ月前早朝	村宮グラウンド	平田哲夫
剣道教室	20(女4)	昭和51年	毎週土曜	今帰仁小学校	仲原武一外3
テニス(硬式)					



### 社会体育の 方針と努力目標

健康は人間生活の基本であり、明るく住みよい社会建設の原動力として村民が健康で文化的な生活を営むためには、スポーツ活動を盛んにすることが大切です。本村ではスポーツが盛んで関心も高いのですが、まだスポーツの生活化までは至っていません。又社会体育施設も皆無で、学校施設を使用している現状にあります。

社会教育行政としては、村民一人ひとりの健康増進と体力向上をめざし、スポーツ活動の生活化のために次の事に努力するものとします。

#### ◎努力事項

- 1 体育指導委員による地域スポーツ活動の推進
- 2 学校施設開放事業の推進
- 3 社会体育施設整備
- 4 スポーツ・レク指導者の養成
- 5 自主的なスポーツクラブの育成
- 6 ホッケー競技の普及

#### ◎スポーツクラブの現状 (上表参照)

#### 体育指導委員の努力点

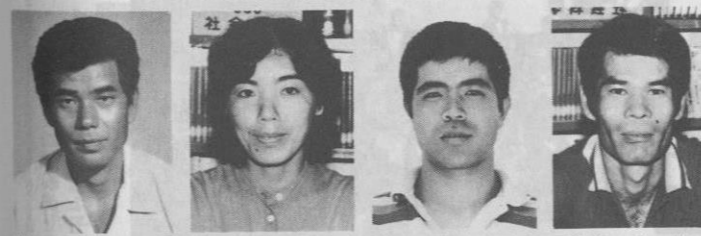
- 社会体育の方針と努力事項をふまえて、体育指導委員としての具体的な努力点を設定し、職務の遂行に努力することとします。
- 1 村体協並びに諸団体の行事への協力と指導
  - 2 スポーツクラブの育成と自主的活動への援助
  - 3 スポーツ教室の開設
  - 4 スポーツ・レク等の講習会、研修会への積極的参加
  - 5 定例研修会の充実

#### ◎今後の課題

- 1 体育指導委員の資質向上のための諸研修会への参加
- 2 各種スポーツクラブの育成
- 3 社会体育施設整備への働きかけ
- 4 体育指導委員の事業内容の村民へのアピール

#### 体育指導委員 の役割分担

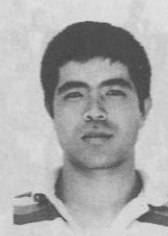
#### 体育指導委員の皆さん(担当部門)



体カテスト・ソフトボール  
宮城 正行



バレエ・レクリエーション  
松田イチ子



ホッケー・ソフトボール  
島袋 輝也



陸上・ホッケー  
島袋 宗弘



バスケット・水泳  
新城 一文



テニス・体カテスト  
嘉陽 宗敬



バスケット・バレー・ゲートボール  
大城 学



陸上・レクリエーション  
与那嶺悦子

ホッケー―島袋宗弘、島袋輝也  
バスケット―新城一文、大城学  
バレー―大城学、松田イチ子  
テニス―嘉陽宗敬  
体カテスト―宮城正行、嘉陽宗敬  
レクリエーション―松田イチ子  
ソフトボール―島袋輝也、宮城一文  
ゲートボール―大城学  
水泳―新城一文

# 仲宗根チームが総合優勝

## 湧川の4連覇をはばむ

### 第39回村球技・格技大会



総合優勝を飾った仲宗根チーム

村体協主催の「第三十九回今帰仁村球技大会」が、七月十日午前九時から北山高校を始め今帰仁中、役場の各会場で行われた。種目は男子・女子バレー、男子・女子バスケット、卓球、庭球、剣道、沖繩角力、江戸相撲で、延べ五十八チームが出場した。

熱戦の末、仲宗根チームが圧倒的強さをみせ総合優勝を飾った。なお、三十六回大会から総合優勝を続けた湧川チームの四連覇は惜しくも実現しなかった。

◎総合成績

優勝—仲宗根(三五・五五)  
準優勝—今泊(二四・五五)

九位—兼・諸(五五)  
十位—勢・渡(四四)

種目別の成績および個人種目の成績は次のとおり。

○男子バレー  
一位—今泊、二位—天底  
○女子バレー  
一位—仲宗根、二位—兼・諸  
○男子バスケット  
一位—仲宗根、二位—玉・呉  
○女子バスケット  
一位—今泊、二位—仲宗根  
三位—勢・渡  
○庭球  
一位—湧川、二位—崎・平

○卓球  
一位—仲宗根、二位—謝・越  
○剣道  
一位—両運天、二位—玉・呉  
三位—崎・平  
○沖繩角力  
一位—天底、二位—今泊  
三位—仲宗根  
○江戸相撲  
一位—天底、二位—仲宗根  
三位—今泊  
○個人戦  
一位—仲間重男  
二位—田港朝義  
○沖繩角力  
一位—玉城修  
二位—吉嶺秀夫  
○”(女子三十歳以上)  
一位—平良京子  
二位—当山弘子

一位—松田茂  
二位—玉城雅典  
○卓球(一般男子)  
一位—宮里政慈  
二位—山城直樹  
○”(一般女子)  
一位—上間ひろみ  
二位—上間敏子  
○”(男子四十歳以上)  
一位—玉城修  
二位—吉嶺秀夫

## 頑張れホッケー少年たち

八月四日(木)から六日(土)まで滋賀県伊吹町で行われる「第五回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会」に、村内の少年男子・女子チームが出場します。大会は、日本体育協会スポーツ少年団と日本ホッケー協会主催によるもので、大会を通じ交流を深めホッケー競技の喜びを体験させようというのが目的。出場するのは、十二歳以下の男女あわせて三十名。派遣費は村と県国体準備委員会・競技力

向上対策本部が負担することになっていきます。なお、監督・コーチは次のとおり。

○総監督 山内昌雄(村社会教育指導委員)  
○男子監督 仲村清光(今帰仁中教諭)  
○男子コーチ 山内学(沖国大学生)  
○女子監督 新城堅一(村教育委員会)  
○女子コーチ 与那嶺悦子(村役場)



大会に向け、土曜、日曜日に猛訓練する選手たち



## あるぜんちんの

### 社会情勢について

玉城 源五郎  
(一四二五マンシーヤ街三五八五)  
(ブエノスアイレス市)



那覇に住む友人からの電話で「亜国では飢死する人が出ていくというが本当か」と言う。「誰がそんなことを言ったのか」と言う。「沖繩タイムズの記事に出ていた」のだという。「それはジャーナリストの間違った情報か説明不足の報道ではないか、私の知っている範囲又はウチナンチュの中ではそんな事はない安心したまえ」これは国際電話での会話である。

亜国について日本にいる人が知るにはマスコミの情報に頼るしか外はない。大体マスコミというものは程度の差もさることながらセンセーショナルリズムから逃げられず、これと思想現象がよって来るところのものについては詳しく触れないのが常であるから、拡大鏡で物を見るようなもので焦点のみに捉わられて本質を見そこなう。例えば最近日本でも取り上げられている亜国の蒸発事件にしても蒸発した事だけが取りあげられて、何故そのような事が起きたか、何故そのような手段に訴えなければならなかったか、時勢と環境等については何の説明も加えられていないのが現在のマスコミである。

現時点に於ける亜国情勢について報ずるとなると、限られた広報の紙面ではどうしても舌足らずになることは自明であるが、先ず明るいニュースは一つもない。去る六月一日には、四桁切

りと捨て五捨六入という前代見聞のデノミが実施された。これは軍事政権の経済建直しの目玉行政らしいが、実施途端に爆発的にともも言いたい週単位のインフレとなり、政治的暗殺は続く泣き面に蜂という天罰か、広大な農牧州(県)として有名なミシオネス州、コリエンテス州、チャーク州、エントレリオ州、サンタヘ州に続くリオ、パラナ河の氾濫、浸水家屋、農作物産動物の被害はすさまじく、食糧大国に於ける栄養失調、普通犯罪の増加等々。暗いニュースばかりを書きたてる新聞記事を見た限りでは「亜国はともも住める国ではない」という印象を与えるであろう。然し日本から来る旅行者は異国同様に「日本で話しに聞いたことと全く違いますね」聞いて地獄、見て極楽とでも表現できるといふ。従ってニュースから受け取るような緊迫感はないようである。

かなり前の事だが、亜国で銀行が二カ月もストで支払い停止があった。日本だったら倒産あるいは争動が起きたであろう。住民は金がないとぶつぶつとぶやきながらも、休暇には家族連れで避暑に行ったりすること止めず、それだけ余裕があるといえる。

ひと頃伝えられたように亜国は「地上の天国」「移住者天国」「戦争のない国」「世界の安全地帯」等とうたわれた国ではなくなった事は事実であるが、だからといって地獄になったのではない。とにかく亜国は日本のな尺度や常識では計れない夢の国であることを強調し、このたび沖繩の人々が心配しておられる国際電話に対するお答えとしたい。(一九八三・七・五記)

突然の電話で面喰ったが「亜国では日本人の住むブエノス州から遠く離れた僻地では飢死もあるというのを聞くこともあるが、アフリカあたりの飢と同じようなものとは思われない大間違いだ」と答えたものの、国

際電話という限られた時間での説明では舌足らずで、充分わかってもらえなかったと思っっている。最近、二・三の宴会場での会話で、同じような問い合わせを国際電話で受けた人が相当にあることから、真剣に心配しておられることがうかがえる。

似たケースとして、昨年あの悪名高いマルビーナス(フォークランド)戦争の時にも、アメリカの義妹、今帰仁の親戚知友から昼夜問わず電話がかかった。飢死の場合も戦争の場合も、日本側での受取り方には共通点がある。戦争という日米戦争を連想するのは無理もないと思うが、然し全然こちらの事情がわかっていないからであろう。成程、今の亜国に飢死はないとは言えない「飢はある」というと正確を伝えない事になる。「亜国に於ける飢」と「アフリカや印度に於ける飢」とはその性格に於ても原因に於ても本質的に違うのである。

移動心配ごと相談所

社協では、毎月第四水曜日の午後一時から各公民館において移動心配ごと相談所を開設しております。あらゆる相談に無料で応じていますので気軽にご利用ください。

担当民生委員と公民館は左記の通りです。

月	公民館	民生委員	民生委員
1	天底区	玉城助一	伊是名
2	呉我山区	神山	照屋
3	上運天区	渡名喜長	浜
4	仲宗根区	嘉手納	島袋
5	仲宗根区	嘉手納	島袋
6	仲宗根区	嘉手納	島袋
7	仲宗根区	嘉手納	島袋
8	仲宗根区	嘉手納	島袋
9	仲宗根区	嘉手納	島袋
10	仲宗根区	嘉手納	島袋
11	仲宗根区	嘉手納	島袋
12	仲宗根区	嘉手納	島袋

月	公民館	民生委員	民生委員
1	天底区	玉城助一	伊是名
2	呉我山区	神山	照屋
3	上運天区	渡名喜長	浜
4	仲宗根区	嘉手納	島袋
5	仲宗根区	嘉手納	島袋
6	仲宗根区	嘉手納	島袋
7	仲宗根区	嘉手納	島袋
8	仲宗根区	嘉手納	島袋
9	仲宗根区	嘉手納	島袋
10	仲宗根区	嘉手納	島袋
11	仲宗根区	嘉手納	島袋
12	仲宗根区	嘉手納	島袋

3 今泊区 仲里 仲本

# 古文書への招待

## 薩摩軍の今きじん通過記録 ⑦

### 読者へ

「日々記」の筆者にとって四月二日、三日は戦場での束の間の休日でした。しかし、琉球も薩摩軍も、首脳にとっては慌しい二昼夜です。「喜安日記」によれば、一日に前号註のような多少の射撃戦と抵抗はあったものの、総体的には大した惨劇に至らず、直ちに戦後処理です。那覇の親見世では講和会議が開かれます。薩摩側からは大慈寺、市来織部、村尾笑栖、首里側は具志頭王子尚宏、西米院、名護良豊、池城安頼、豊見城盛統、江洲栄真、喜安、津見等が代表として列席しています。翌二日には具志頭王子尚宏、名護良豊、浦添、謝名、つまり王子と三司官が人質と決定。さらに三日には佐敷王子朝昌が人質に加わります。その夜半、具志頭王子は今一度首里城内に引返し、尚寧王に事の次第を報告し、王の投降を勧告、四日に下城ということになります。

その間、薩摩軍の末端では那覇、首里の民家へ掠奪、放火等相当の乱暴狼藉があったようです。聞得大君御殿、仙福庵、豊美城の屋敷焼失。無論民家も例外でなく、家々の日記、代々の文書、七珍万宝さながら失果つ

という有様、民衆は唯々、行先もない避難民と化したのでした。それにしても識名での凄惨な斬合いは、映画にもなった大宅壮一の「日本の一番長い日」を思い出さずにおれません。日本の敗戦の日、武器を自由にできるといっただけで戦争を引き延ばして個人的な意地を張ろうとする、青年将校らの思い上りと愚かさ、一方、邪魔者扱いされながらも協力せざるを得ない民衆の哀しさ、憐れさをです。

ただ首里開城と日本の敗戦の際の決定的な相違は、具志頭王子尚宏(当時二八才)の聡明な情勢判断とやさしさ、それに対する王の信頼、そして何にもまして王者としてのいさぎよさがあつたことだとおもいます。さて今月は註記が少なくす

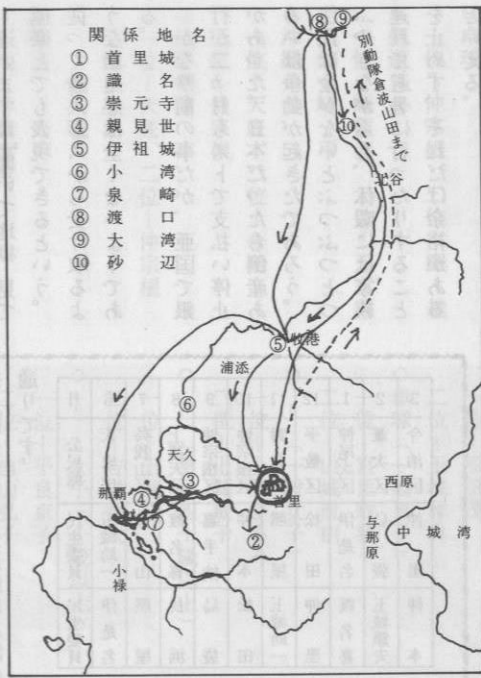
んだので、古文書の表現について少々触れておきます。

この「日々記」は最後を除けば全部、いわゆる候文です。しかも句読点なしの書流しで、時々困ることがあります。例えば六月号の原文三行目の「ちと先船にて候」という句は、あの現代語訳のようにも読めるし、権左様以下にかかっているようにも読めます。つまり「(いつも)少し先発気味に進まれている権左様様を始めとする十艘程は(この度も)えらぶの時のように(追風を待たず)漕ぎ出された」と読むのかも知れません。難かしいところですが、あなたはどう読みますか。

### 現代語訳および註記

に宿泊した。二階の二つある家で、海を眺めることのできる場所逗留したのである。二日にはどこへも出勤などもなく、思いの俵に那覇の町なかを見物するくらいのものであつた。三日、王位様御下城に先立つて荷物を

お下しになった。首里城検分のため、鹿兒島衆の一部が出かけたところ、王位が抵抗もなく降伏開城なさることに不服だという訳で、琉球側の家来たち二十人余りが、城壁から縄をさげ(それに伝わって)脱出して山に逃げこんだのを、わが高山部隊と右に述べた鹿兒島部隊の少数とで追跡し、斬合となった。敵の中心人物は二人である。当方に四人の負傷者がでた。琉球人は山に逃げこんだ。この斬合いで後援部隊が出動したが、大したことにはならなかった。すべて事は終わった。四日には王位様が御下城なさつた。王様だけが奥で、妃などは歩いてお下りになった。御女中衆などの有様は気の毒でいふべき言葉もない。王位様の御宿は名護のところである。五日には首里の城の請取り(接取)なので、御大将をはじめ首里へお出かけである。城内には御大将と幕僚だけで、部隊は従えずお入りになった。その日、昼時分から城内の接取荷物検査で、目録を作成の上、薩摩のものといふようになった。四組に分かれて検査された。日本では生涯かけても見ることのないような唐物(舶来品)のほか、めずらしい物が多くて数えきれないほどである。半右様は御分限ではあるが、草履取り一人をも従えずに、ご自分だけでお入りになった。晩にお帰りの時は(以下次号)



宿仕の二階ニツある宿に長海と詠め在る  
 運命の二日といふ方々うらな探もかくと  
 かし内う尼相し舞ふ三日王位様御下城しため  
 下城し給ふ。駕輿もなかりければ、葱花鳳輦は只名をのみ聞て、主上腰輿に召されけり。あたり衆、若里之子御輿をあぐとかや。女房達はもはかまのすそ高くとり、王子以下御相雲客は袴のそば高くはさみ、玉だすきしてぞ落給ふ。哀なりける有様にて、名護の宿所へ行幸なる。……中略……去程に、名護の宿所皇居には不可然とて、浦添美御殿へ移らせ給ふ。

④御分限二ごぶげん。ぶんげんともいう。身分、財力等のあることをいうが、この場合は文脈上前者だろう。(四月号参照)

### 読み下し

宿仕候。二階ニツある宿に居り、海上を詠(なが)め居る在所にて逗留申し候。二日には何方へも、うち手探もなく、しかとは、なほ内を見物の躰に候。三日、王位様御下城のため、荷物御下し候。彼の城見物として

鹿兒島衆少々御出で候処に、王位、手もなく下城成され候事、迷惑の由にて、地下衆主徒廿人余にて城より縄をさげ、山へのがれ候を、此方の人衆、右に申し候鹿兒島衆少々に追掛り成され、とりあひ共候。敵は二人にて候。此方の衆に四人手追ひ共候。琉球人は山にげ入り申し候。彼の取り合いに依りて、つぎにて御打ち出し成され候へ共、少き事成る事にて候。惣別御留まり候。四日には王位御下城成され候。王位計り御輿にて、さきさきなどはかちにて御下り候。おんなご衆などのありさま、あさましき躰、沙汰の限りに候。王位様御宿、名護の所に候。五日には首里の城御うけ取り成され候故、御大将を始めしほりへ御出で候。城内には御大将分の御人衆計り、人をも召し烈れられず御入り候。彼の日昼程より城内の荷物御改めに、日記に付け、薩摩御物に罷り成り候。四組にて御改め候。日本に於て終に見申されざる唐物以下、珍しき物おほき事限り無く候。半右様御分限にて候へ共、じょうり取り一人も召し烈れられず、我計り御入り候。晩に御帰りの時は(以下次号)

# 若き後継者たち

14

## アイディア農耕具製作

### 天底の大城清政さん

少しばしも休まず、槌打つ響き、三男三女の長男。麻子夫人との仕事に精出す村の鍛冶屋と、間に、健太郎君(三歳) 祐樹君(二歳)の二人の男の子がいる。丁度、第三子の出産予定日が過ぎていたこともあって、あわただしいインスピレーションとなった。とにかく忙しい人だ。農鍛冶は県内でも本村にしかない(村内に四軒)というので、北部だけでなく中南部からの需要に追われっぱなし。月に一日休めればいいほうだという。利用者の希望にこたえ、農耕具だけで三十種類も製作する。ジャーガル土用に作った鉄は、我々には想像もできない奇妙(?)なもの。「こんなものは博物館にもない」というだけに、清政さんのオリジナルとして珍重されている。



今回は、農鍛冶で知られる大城鉄工所の大城清政さん(三十二歳、字天底一五六―)に話を聞いてみた。清政さんは清源・トヨさんの

その外村内の花き生産農家向けに、切断できる梱包機も十数台作った。万事がこの調子で、様々な注文が持ち込まれる。この道四十年という清源さんの技術と清政さんの新しいアイディアがうまく生きていくといえる。

清政さんが本格的に家業を継いだのが五年前。当時は得意先回りで苦労がたえなかつたという。今では着実に軌道に乗り、電話での外交が主。二年前から趣味の園芸を生かした家庭園芸用品の店もオープンした。悩みとしては、原材料が年々上がるものの、製品の値上がりがまわらないこと。「組合で話し合い統一して値上できれば」と話してくれた。

小さい頃から家業を継ぐ気はなかつたという清政さん。北山高卒業後、約五年間大阪で両替機等の製作に携わり、海洋博時にUターン。その当時知り合っただのが麻子夫人で、家業を継いだのは、どうやらこの辺に原因がありそう。商工会青年部との語らいが一番の励みになるといい、商工業としてだけでなく、村の伝統工芸を守る上からも今後とも頑張ってほしいものだ。写真!県内では本村にしかないという農鍛冶一筋に励む大城さん親子

# 税務課だより

## 固定資産税のあらまし

その4

私は、昭和58年2月に土地を売払い、3月には所有権移転登記を済ませました。昭和58年度の固定資産税は誰に課税されますか。

昭和58年度の固定資産税は、あなたに課税されます。固定資産税は、地方税法の規定により、土地については賦課期日(毎年1月1日)現在の土地登記簿に所有者として登記されている人に対し課税することになっているからです。



※固定資産税は毎年1月1日現在で土地・家屋・償却資産を所有している人がその固定資産税の価格をもとに算定される税額をその固定資産税の所在する市町村に納めます。

# 開催!42回沖縄国体

## 日体協理事会で承認

日本体育協会は七月六日の理事会で、昭和六十二年に行われる第四十二回国民体育大会は沖縄県で開催することを全会一致で承認しました。

これは去る六月一日、沖縄県から提出された開催の申請を受けて内定されたものです。これにより、来年五月

に予定されている日体協と文部省が各競技施設と会場地市町村の準備状況等の総合視察を行い、

同年七月ごろ開催決定が行われることになっています。沖縄国体では夏季大会と秋季大会が開かれます。実施競技は適当な山がないことから山岳競技を除き、夏季大会が四、秋季大会が三十二(うち公開競技二)の計三十六競技が行われます。夏季大会は五市町村五競技会場、秋季大会は三十三市町村七十七競技会場で開かれ、夏季・秋季あわせて十一市九町十一村で開かれることになっています。特に本村では、秋季大会のホッケーが開催されます。

四年後の国体開催に向けて、地域ぐるみで運動を展開し、沖縄国体を成功させていきたいものです。

## 『毎月勤労統計調査』

### についてのお願い

労働省では、本年七月三十一日で常用労働者一、二十九人の事業所を対象に毎月勤労統計調査特別調査を実施いたします。

この調査は、一、二十九人規模事業所における賃金、労働時間及び雇用の動向を明らかにするもので、その結果は事業所における賃金管理を始めたし労働管理の基礎資料として広く利用されます。

八月中旬から調査の対象となる事業所には、統計調査員が訪ねしますので、御多忙のこととは存じますが調査の重要性をご理解いただき御協力くださる

## 宮里邦夫氏が名護保健所長より表彰

去る三月末日に村役場を退職された宮里邦夫氏(宇越地一〇



三)が、六月十日名護市で行われたそ族昆虫の講習会の席上で名護保健所長(比嘉政昭氏)より表彰されました。宮里氏は昭和三十四年十月一日の役場採用以来、二十三年余にわたる村職員として勤務。特に地域の保健衛生の向上に尽くした実績は大きく、表彰はその功績によるものです。写真!名護保健所長より表彰される宮里氏(右)

## 児童扶養手当・特別児童扶養手当 現況届はお早めに

児童扶養手当、特別児童扶養手当について

毎年一回すべての受給者が出す届です。受給者の方は、八月十一日から十二日(午前九時~四時)までに村役場厚生課に提出してください。もしこの届を出さない、引き続き受給資格があっても八月分以降の手当の支払を受けることはできませんので必ず提出してください。



児童扶養手当・特別児童扶養手当に支給される手当です。特別児童扶養手当は、障害児を養育する人(父か母または父母以外の養育者)に支給される手当です。

児童扶養手当現況届・特別児童扶養手当所得状況届について

ようお願いします。なお調査しました個々の事実を税金関係など統計以外の目的に使用することは絶対ありません。

## ご利用ください

### 交通事故巡回相談

県では、交通事故被災者からの相談及び各機関へあつせんする「交通事故相談業務」を各市町村において実施しています。

本村においても、次のとおり行われますので、事故でお困りの方あるいは相談を希望する方はお気軽にご利用ください。

- 日時 八月十一日(木)午前十時から午後三時
- 場所 村役場ホール
- 相談員 伊野波栄一氏

## 新職員です!

よろしく お願いします



税務課住民税係 玉城 雅彦

去る六月末日、税務課住民税係の島栄徳氏(宇平敷一五二)が退職されました。島氏は十八年十カ月の役場勤務でした。なお後任の税務課住民税係として、七月六日付で玉城雅彦(二十五歳、宇越地 五五)を採用しました。村民の皆様よろしくお願いたします。



村社会福祉協議会に、次のとおり寄附がありました。ご芳志ありがとうございます。

- ◎日本海中部地震災害運動として一老人クラブ、社協職員、拾得物期限切による寄附などあわせて二万二千八百五十円
- ◎岸本自動車より一万円
- ◎村青年協議会より二万円



8月1日  
9月1日

# 村民カレンダー



8/1	月	
2	火	
3	水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館)
4	木	
5	金	○区長会 (14:00、役場会議室)
6	土	○健康相談 (8:30~12:00、保健婦室)
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	○心配ごと相談 (13:00~中央公民館) ○人権相談 (10:00、中央公民館) ○子豚セリ市 (12:00、セリ市場)
11	木	○交通事故巡回相談 (10:00、役場ホール)
12	金	○3歳児健診 (13:00~15:00、役場ホール) ○少年の主張大会 (14:00~17:00、中央公民館)
13	土	○第7回県民コンサート (7:30~今帰仁中体育館入場無料)
14	日	○少女バスケット大会 (09:00~湧川小中体育館) ○国頭郡ソフトボール大会 (9:00、村営グラウンド)
15	月	○村まつり実行委員会 (14:00、役場2階会議室)
16	火	○肉用牛セリ市 (13:00、セリ市場) ○高齢者教室 (15:00、中央公民館)

17	水	○心配ごと相談 (13:00、中央公民館) ○親子映画劇場 (14:00、中央公民館)
18	木	○乳幼児学級 (13:30~15:30、中央公民館)
19	金	
20	土	○健康相談 (8:30~12:00、保健婦室)
21	日	○第20回国頭郡球格技大会 (今帰仁村、本部町、伊江村)
22	月	○区長会 (14:00、役場会議室)
23	火	
24	水	○移動心配ごと相談 (13:00~上運天公民館)
25	木	○山口県少年の船交換会 (09:30~今帰仁小学校)
26	金	○子豚セリ市 (12:00、セリ市場) ○村農業委員会定例会 (10:00、役場会議室) ○1歳半健診 (13:00~15:00、役場ホール)
27	土	○第4回今帰仁村まつり (28日まで)
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	○子宮ガン検診 (13:00、中央公民館) ○心配ごと相談 (13:00~中央公民館)
9/1	木	

暑いというより、気象異変が起ったようなそんな酷暑の日々。体調は如何ですか。水分を取り過ぎたり寝不足になったり、不規則になりがち。暴飲・偏食をさけ、健康には充分な配慮を。夏休みに入り、村教育委員会では、小学生を対象に北山高プールで水泳教室を開催。指導は体育指導委員が当り、主に水に入る心がまえ・バタ足・呼吸法など、基礎を中心に行っている。最も子ども達にとっては、思い思いに水遊びをした方が楽しいようだが。しかし、こうした基礎訓練が、心身の鍛練と技術の向上に必ず役立つことだろう。

■学校のスポーツクラブでも基礎訓練の重要性が問われている。入部したものの、球拾いや後片付の辛さに音を上げ、退部する選手も多いという。このことは我々の社会生活でも言えること。下積の大切さを知ること、長い人生の中で大きな意味を持っているような気がしてならない。

## 編集後記

